

● 事業案内 ●

●主催事業 「県産食材を使用した野外炊飯」

日 時：平成26年3月16日(日)9:30～14:00(予定)

場 所：沖縄県立名護青少年の家(名護5511)

参加料：1,000円/人 ※大人子ども同一料金

内 容：石釜で作るアーサパン、県産キノコと鶏肉
アヒージョ、琉球ストロングカレー

対象及び定員：小学生以上30名

※定員に達し次第締め切ります。

申し込み方法：電話受付(受付時間8:30～17:30)

募集期間：2月15日(土)～3月12日(水) 8:30～17:30

※月曜休所日

※小学生以下は保護者同伴、保護者も数に含みます。

●主催事業 「キッズアドベンチャー」

日 時：平成26年3月21日(金)～23日(日)

場 所：沖縄県立名護青少年の家(名護5511)

参加料：4,000円/人

内 容：本部半島サイクリング、キャンプ、野外炊飯
クラフト作成など

対象及び定員：小学校4年生以上20名

※定員に達し次第締め切ります。

申し込み方法：電話受付(受付時間8:30～17:30)

募集期間：3月1日(土)～3月19日(水) 8:30～17:30

※月曜休所日

名護岳に咲く花々 Vol. 11

シラン(紫蘭)

ラン科 シラン属

学名：〈*Bletilla striata*〉



施設周辺にて撮影(2月15日)

草丈30～50cmの多年草で地生するタイプのラン(地生ラン)です。日本(本州、四国、九州)台湾、中国に分布し日当たりの良いやや湿った草地に生えます。

地下に連ねた扁平(へんぺい)な地下球(偽球茎)から笹のような葉茎を伸ばし花茎の先に数個の花を付け、茎は30～50cm程度、比較的丈夫な植物で半日陰や日向まで適応し、乾燥・過湿にも強く栽培しやすいため観賞用に広く普及しています。花の色が白色・斑入り・淡色、花弁が唇口化した「三蝶咲き」などがあります。

因みに、野生の花は環境省レッドリスト「準絶滅危惧種(N T)」に指定されていますが、栽培されている花から種子が飛散し野生化している場合もあるため、野生の個体との判別が難しい。

専門職員 神谷 智

発行 2014年(平成26年) 2月26日(水)



沖縄県立
名護青少年の家
Okinawa Prefecture Nago Youth Center

名護市名護5511

TEL:0980-52-2076 FAX:0980-52-3082

http://www.opnyc.jp/



指定管理者

一般財団法人

沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation

ブログ
も見てね!
QRコード



http://www.opnyc.jp/
スタッフブログ/



ガーデンテーブル寄贈式

～キャンプ場へテーブル4台、名護商工高より寄贈～

去る2/7(金)、キャンプ場にガーデンテーブル4台が寄贈されました。作ったのは名護商工3年2組(電建システム科建築技術コース)の皆さん。長年の



名護商工の皆さんと記念撮影

風雨により老朽化したキャンプ場のテーブル更新に、ひと肌脱いでいただきました。今回制作を手掛けた11名の生徒さんは、ほとんどが「建築大工の技術士3級」を持つすご腕!各種施設への寄贈は平成23年度から同校が奨励、これまでに介護老人保健施設へ「スロープ



寄贈されたガーデンテーブル



あすなろ東保育園の園児もご満悦!



寄贈の様子



T Vのインタビューに答える名護商工生



事業報告

自主事業 名護岳清掃ボランティア

沖縄美ら島財団の自主事業「名護岳清掃ボランティア」を2/1(土)、名護岳で開催し41名の参加者と周辺の清掃活動を行いました。当日は名護岳ハイキングコースや県道18号線など、名護岳をぐるっと1周取り



県道18号線を清掃する子どもたち

囲むように2班に分かれて実施。不法投棄物や生活ごみを一掃しました。集まったゴミは全部で軽トラック3台分。名護市環境センターよりいただいたボランティア用ゴミ袋100袋もほとんど使い切りました。最後はゴミの分別もきっちりやって、所



ハイキングコース周辺を清掃する参加者



山中から出てきたゴミの山

〈担当：事務長 前川より〉

皆さんのおかげで名護岳の環境美化が行えました。心無い不法投棄はなくなりませんが、このような善意の活動が少しでも広がることで、自然を損なわずに次代へ残せるのではないかと思います。今後も定期的な清掃を呼びかけていきますので、ぜひお力をお貸しください。



感謝状贈呈

【参加者の皆さん】

- ・長嶺様 ・國吉様 ・上野様
- ・島尻様 ・安永ファミリー様
- ・大野ファミリー様
- ・メロディーハウス様
- ・仲建工業様 ・平田設計様
- ・與那嶺塗装社様

主催事業

ナゴランを育てよう

2/9(土)に主催事業「ナゴランを育てよう」を開催しました。講師に安座間健氏(沖縄県立北部農林高等学校 教諭)と北部農林高等学校園芸工学科・生物工学



生徒による着生講習

コースの3年生を招いて、ナゴランの栽培方法や着生方法を講義、また実際に苗を用いて樹木への着生実技指導をしていただきました。名護市から参加の女性



参加者の質問に応じる講師の先生

は「ナゴランが少しでも増えて欲しいという願いがあって参加しました」、浦添市から参加の女性は「昨年来て興味を持ちました。ナゴランのような可憐な美しさで人生を豊かにしていきたいです」とナゴランへの興味をますます深めた様子で話してくれました。

～樹木への着生実技の様子～



〈担当：主任 古網〉

この度は、沖縄県立名護青少年の家主催事業「ナゴランを育てよう」にご参加いただきありがとうございます。この事業はナゴランの研究を24年もの間、継続しておこなっている沖縄県立北部農林高等学校の皆さんに協力していただき続けていくことができました伝統ある事業です。

過去に樹木に着生させたナゴランの株はしっかり根付き、梅雨時期には清涼な芳香をはなっています。今年も多くの参加者が集い所内の樹木に着生させました。

また、着生の実技講習の他には、北部農林の生徒によるナゴランの研究発表や家庭でナゴランを楽しんでもらえるように栽培講習やナゴランのプレゼントも行いました。今後も「ナゴラン」の良さを知ってもらうべく、次年度も継続して実施していきたいと思いますので、皆さんぜひご参加ください。



参加者の皆さん